

平成23年9月5日(月)
16:00~18:00
パシフィコ横浜会議センター
211・212会議室

第2回 横浜市 MICE 機能強化検討委員会 議事次第

<内容>

- 1 第1回 横浜市 MICE 機能強化検討委員会の振り返り
- 2 ご議論いただきたい内容について
- 3 海外、国内他都市比較及び市内施設集積状況など
 - (1) MICE 市場の動向について
 - (2) 横浜市内での MICE 開催状況について
 - (3) 海外、国内他都市と横浜市の MICE 施設比較
 - (4) 横浜市内の MICE 施設の集積状況(パシフィコ除く)
 - (5) 波及効果など
- 4 委員からの情報提供
 - (1) 海外他都市における MICE 戦略及び施設整備の動きについて
(森口委員)
 - (2) パシフィコ横浜において開催された催事及び成立していない催事について(桜井委員)
- 5 意見交換

【資料】

- 資料1 委員名簿
- 資料2 第1回横浜市 MICE 機能強化検討委員会の振り返り
- 資料3 ご議論いただきたい内容について
- 資料4 海外、国内他都市比較及び市内施設集積状況などについて

横浜市 MICE 機能強化検討委員会 委員

委員

氏名	所属
鎌形 太郎	株式会社三菱総合研究所地域経営研究 センター長
川崎 悦子	日本政府観光局 (JNTO) コンベンション誘致部 誘致グループマネージャー
齊藤 毅憲	関東学院大学経済学部教授
桜井 秀夫	株式会社横浜国際平和会議場 常務取締役
高見 牧人	観光庁参事官
椿 慎美	公認会計士
森口 巳都留	株式会社 MICE ジャパン 代表取締役社長
渡辺 厚	株式会社情報伝達研究所 代表取締役

50 音順、敬称省略

事務局

氏名	所属
光田 清隆	横浜市文化観光局長
赤岡 謙	横浜市文化観光局観光コンベンション振興部長
矢野 修司	横浜市文化観光局観光コンベンション振興部 コンベンション振興課長
桐原 和博	横浜市文化観光局観光コンベンション振興部 コンベンション振興課施設担当課長

第1回 横浜市 MICE 機能強化検討委員会の振り返り

<p>① 機能強化の目的・効果</p>	<p>1. 横浜市として MICE 機能強化に取り組む目的を明確に打ち出すべき。 →横浜市中期 4 カ年計画の成長戦略で、観光・創造都市戦略を位置づけ、「MICE の拠点都市として国際的な地位を確立するほか、経済成長が見込まれるアジアからの誘客を促進し、経済活性化につなげる」こととしている。 →国際観光・MICE 都市の実現に向けたアクションプランにおいて定める、MICE 誘致、MICE 開催支援、アフターコンベンション、集客力あるイベントの開催支援については、具体的に取組みを進めている。「MICE 拠点の機能強化」について、本委員会で議論を行う。</p> <p>2. 経済・産業への波及効果や税収効果のほか、横浜の文化、科学・技術、人材育成等に波及する効果を明確にすべき。</p>						
<p>②現状、横浜が持っているコンベンション機能の検証</p>	<p>1. 横浜が置かれている環境を、当委員会として再整理すべき。</p> <table border="1" data-bbox="437 573 1437 1182"> <tr> <td data-bbox="437 573 496 931">内部環境</td> <td data-bbox="496 573 1437 931"> <p>「パシフィコ横浜」の強み ⇒国内有数の「機能集積型」のコンベンション施設</p> <p>実績の積み重ねによる施設・運営主体への信頼 ⇒日本の各施設の知名度は低い、横浜は実績有。 ⇒アジア地域で大型 MICE 施設の建設が進む中、ハード面・ソフト面での高い信頼。 ⇒パシフィコ横浜の開業 20 周年のノウハウの積み重ねによる、提案型営業力。</p> <p>パシフィコ横浜に関する弱み ⇒稼働率が限界に近く、ニーズに応えられなくなっている。 (4,000 件の申込み中、1,000 件しか開催できていない) ⇒駐車スペースの不足</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 931 496 1182">外部環境</td> <td data-bbox="496 931 1437 1182"> <p>羽田空港の再国際化によるメリット (2010. 10～) ⇒海外からのアクセスが向上。 ⇒周辺の産業集積にもメリット。 (理化学研究所、海洋研究開発機構、横須賀 Y R P、MM21 の企業集積など)</p> <p>台頭するアジア諸都市 ⇒一昔前はアジアといえば日本国内の競争だったが、アジア内での競争が激化。 海外で、パシフィコ横浜や横浜の知名度は必ずしも高くない。</p> </td> </tr> </table> <p>2. 海外の成功例等との比較を詳細に行うべき。</p> <p>3. みなとみらい地区の一層の活用についても視野に入れるべき。</p>	内部環境	<p>「パシフィコ横浜」の強み ⇒国内有数の「機能集積型」のコンベンション施設</p> <p>実績の積み重ねによる施設・運営主体への信頼 ⇒日本の各施設の知名度は低い、横浜は実績有。 ⇒アジア地域で大型 MICE 施設の建設が進む中、ハード面・ソフト面での高い信頼。 ⇒パシフィコ横浜の開業 20 周年のノウハウの積み重ねによる、提案型営業力。</p> <p>パシフィコ横浜に関する弱み ⇒稼働率が限界に近く、ニーズに応えられなくなっている。 (4,000 件の申込み中、1,000 件しか開催できていない) ⇒駐車スペースの不足</p>	外部環境	<p>羽田空港の再国際化によるメリット (2010. 10～) ⇒海外からのアクセスが向上。 ⇒周辺の産業集積にもメリット。 (理化学研究所、海洋研究開発機構、横須賀 Y R P、MM21 の企業集積など)</p> <p>台頭するアジア諸都市 ⇒一昔前はアジアといえば日本国内の競争だったが、アジア内での競争が激化。 海外で、パシフィコ横浜や横浜の知名度は必ずしも高くない。</p>		
内部環境	<p>「パシフィコ横浜」の強み ⇒国内有数の「機能集積型」のコンベンション施設</p> <p>実績の積み重ねによる施設・運営主体への信頼 ⇒日本の各施設の知名度は低い、横浜は実績有。 ⇒アジア地域で大型 MICE 施設の建設が進む中、ハード面・ソフト面での高い信頼。 ⇒パシフィコ横浜の開業 20 周年のノウハウの積み重ねによる、提案型営業力。</p> <p>パシフィコ横浜に関する弱み ⇒稼働率が限界に近く、ニーズに応えられなくなっている。 (4,000 件の申込み中、1,000 件しか開催できていない) ⇒駐車スペースの不足</p>						
外部環境	<p>羽田空港の再国際化によるメリット (2010. 10～) ⇒海外からのアクセスが向上。 ⇒周辺の産業集積にもメリット。 (理化学研究所、海洋研究開発機構、横須賀 Y R P、MM21 の企業集積など)</p> <p>台頭するアジア諸都市 ⇒一昔前はアジアといえば日本国内の競争だったが、アジア内での競争が激化。 海外で、パシフィコ横浜や横浜の知名度は必ずしも高くない。</p>						
<p>③ ターゲットの明確化</p>	<p>1. “国際会議の絶対数は増加、規模も拡大” という前提で議論すべき。</p> <p>2. 機能拡大に取り組むにあたって、ターゲットを明確にすべき。 ⇒横浜はどこで競争するのか？</p> <p>【現在の横浜コンベンションの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医学系・学会系のコンベンションの積み重ねが多い。 ・ 既存企業集積状況から、企業会議の需要もある。 ・ 横浜らしさ、日本らしさが乏しい。 ・ 国際組織の中で活躍する、市内の大学や病院などの方々が減っている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジアのコンベンション施設…大規模、複合的、低価格 <p style="text-align: right;">ターゲットを明確化すべき</p>						
<p>④MICE 拠点づくりのあり方</p>	<table border="1" data-bbox="408 1711 1458 2190"> <tr> <td data-bbox="408 1711 616 1989">1. どのような拠点が必要か</td> <td data-bbox="616 1711 1458 1989"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭的な勝負は困難。 ・ ユニークベニューを使用することも有効 (1000 人程度、少なくとも 400～500 人程度が集まれて、日本らしさが感じられる施設など) ・ 施設面に加え、展示会やインセンティブの要素を入れるなどして、一つのコンベンションに対して横浜への回遊性を高めるべき。 ・ 日本らしさをウリに、横浜の尖ったところを見せていかなければいけない。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1989 616 2092">2. 配置</td> <td data-bbox="616 1989 1458 2092"> <ul style="list-style-type: none"> ・ MICE 施設は産業インフラ。しかるべき場所に立地すべき。 ・ みなとみらい 21 地区を中心とした、横浜の強み・弱みを考慮した配置にすべき。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 2092 616 2190">3. 事業手法</td> <td data-bbox="616 2092 1458 2190"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 年後、30 年後のモデルプランやスキームを考えるべき。 ・ コンベンション施設は、民間ベースで儲かる仕組みを作りにくい。海外の民間運営の仕組みを今後検討すべき。 </td> </tr> </table>	1. どのような拠点が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭的な勝負は困難。 ・ ユニークベニューを使用することも有効 (1000 人程度、少なくとも 400～500 人程度が集まれて、日本らしさが感じられる施設など) ・ 施設面に加え、展示会やインセンティブの要素を入れるなどして、一つのコンベンションに対して横浜への回遊性を高めるべき。 ・ 日本らしさをウリに、横浜の尖ったところを見せていかなければいけない。 	2. 配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ MICE 施設は産業インフラ。しかるべき場所に立地すべき。 ・ みなとみらい 21 地区を中心とした、横浜の強み・弱みを考慮した配置にすべき。 	3. 事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 年後、30 年後のモデルプランやスキームを考えるべき。 ・ コンベンション施設は、民間ベースで儲かる仕組みを作りにくい。海外の民間運営の仕組みを今後検討すべき。
1. どのような拠点が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭的な勝負は困難。 ・ ユニークベニューを使用することも有効 (1000 人程度、少なくとも 400～500 人程度が集まれて、日本らしさが感じられる施設など) ・ 施設面に加え、展示会やインセンティブの要素を入れるなどして、一つのコンベンションに対して横浜への回遊性を高めるべき。 ・ 日本らしさをウリに、横浜の尖ったところを見せていかなければいけない。 						
2. 配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ MICE 施設は産業インフラ。しかるべき場所に立地すべき。 ・ みなとみらい 21 地区を中心とした、横浜の強み・弱みを考慮した配置にすべき。 						
3. 事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 年後、30 年後のモデルプランやスキームを考えるべき。 ・ コンベンション施設は、民間ベースで儲かる仕組みを作りにくい。海外の民間運営の仕組みを今後検討すべき。 						

<p>第一回 (7月13日)</p>	<p>横浜市の MICE の現状 横浜 MICE の強み弱み 検討の視点 (論点の整理)</p>
<p>第二回 (9月5日)</p>	<p>MICE 拠点の機能強化にあたって必要なターゲットの明確化について 今後、何をターゲットとすべきかご議論いただく。</p>
<p>第三回 (10月中旬)</p>	<p>MICE 拠点づくりのあり方について (1) 必要となる施設機能・スペック みなとみらい21地区周辺のまちづくりの考え方</p>
<p>第四回 (11月中旬)</p>	<p>MICE 拠点づくりのあり方について (2) 運営主体、事業手法</p>
<p>第五回 (12月中旬)</p>	<p>提言書のまとめ</p>

第2回の委員会(本日)においてご議論いただきたい視点

- ・ MICE 市場の拡大の動向
- ・ 今までの会議開催実績の積み重ね
- ・ 海外、国内 MICE 都市と横浜の比較
- ・ 日本や横浜の特徴を生かす視点
- ・ 波及効果の大きさ
- ・ 市民参加、市民理解の観点 など

資料4

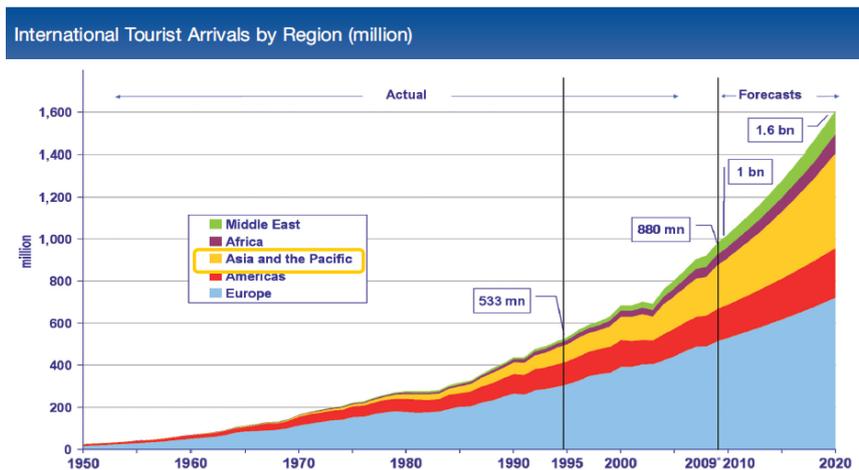
海外、国内他都市比較及び市内施設集積状況などについて

- (1) MICE 市場の動向について
- (2) 横浜市内での MICE 開催状況について
- (3) 海外、国内他都市と横浜市の MICE 施設比較
- (4) 横浜市内の MICE 施設の集積状況（パシフィコ除く）
- (5) 波及効果など

1-1 アジアにおける国際会議開催動向

- ・アジアにおける経済活動の活発化とともに、アジアでの国際到着客数が増加。
また、2010年—20年で約2倍に増えると予想されている。(UNWTO Tourism 2020 Vision)
- ・同様に、アジアでの国際会議開催件数も伸びており、日本との誘致競争が激しくなっている。
日本では、科学技術系と医学系、2000人以上の大規模な会議が増加している。

表1 外国人旅行者数 (国際到着客数) の推移 (出典:UNWTO Tourism Highlights 2010 Edition)



	Base Year	Forecasts		Average annual growth rate (%)	Share (%)	
	1995	2010	2020	1995-2020	1995	2020
Total	565	1,006	1,561	4.1	100	100
Africa	20	47	77	5.5	3.6	5.0
Americas	109	190	282	3.9	19.3	18.1
East Asia/Pacific	81	195	397	6.5	14.4	25.4
Europe	338	527	717	3.0	59.8	45.9
Middle East	12	36	69	7.1	2.2	4.4
South Asia	4	11	19	6.2	0.7	1.2
Intraregional (a)	464	791	1,183	3.8	82.1	75.8
Long-haul (b)	101	216	378	5.4	17.9	24.2

■ 国際会議の選定基準 (JNTO の基準)

以下の①~④をすべて満たす国際会議を「国際会議」とする。

- ①主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体
※各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て
- ②参加者総数：50名以上
- ③参加国：日本を含む3カ国以上
- ④開催期間：1日以上

【世界におけるアジアの国際会議開催状況について】

大陸別国際会議の構成比(%) カッコ書きは件数 (UIA)

	2000年	2003年	2007年	2009年
アフリカ	4.2 (438)	4.8 (597)	3.9 (404)	5.0 (579)
アメリカ	21.5 (2,236)	22.9 (2,828)	19.2 (1,978)	16.2 (1,862)
アジア	12.8 (1,335)	12.1 (1,500)	19.9 (2,052)	22.6 (2,594)
オセアニア	4.4 (458)	3.1 (380)	3.2 (334)	2.4 (274)
ヨーロッパ	57.1 (5,946)	57.1 (7,071)	53.8 (5,550)	53.8 (6,194)

(UIA 資料に基づき JNTO が作成)

都市別国際会議の開催件数(件) (UIA)

	2000	2003	2007	2009
シンガポール	121	142	465	689
ソウル	68	85	121	151
東京	66	63	126	134
バンコク	76	77	62	81
シドニー	130	86	90	81
北京	63	52	88	80
横浜	-	-	-	54

【日本における規模別国際会議の開催状況について】

規模別国際会議の開催件数 (件)

	2000年	2003年	2007年	2009年
~299人	1979	1873	1233	1418
300~399人	508	463	422	435
1000~1999人	117	112	110	119
2000人~	85	106	93	150

(出典: JNTO 「2009年国際会議統計」)

(2) 横浜市内での MICE 開催状況について

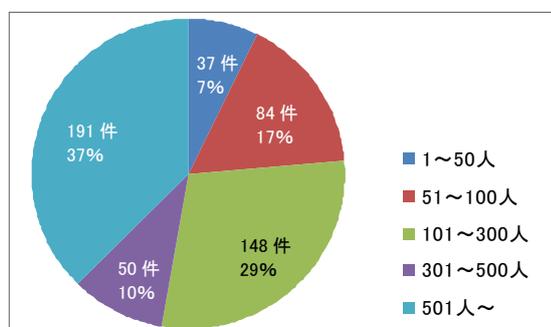
資料 4

2-1 市内で開催されたコンベンションの規模と開催場所について

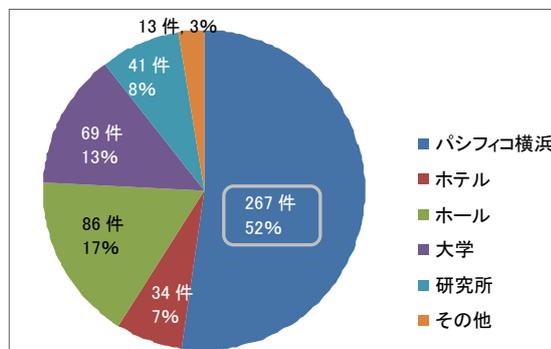
2009年		
分類	会場	開催件数
国内会議	パシフィコ横浜	87件
	パシフィコ横浜以外	288件
	小計	375件
国際会議	パシフィコ横浜	92件
	パシフィコ横浜以外	87件
	小計	179件
展示会	パシフィコ横浜	38件
	パシフィコ横浜以外	2件
	小計	40件
イベント	パシフィコ横浜	28件
	パシフィコ横浜以外	36件
	小計	64件
合計		658件

(出典:2009年 横浜コンベンションビューロー データ)

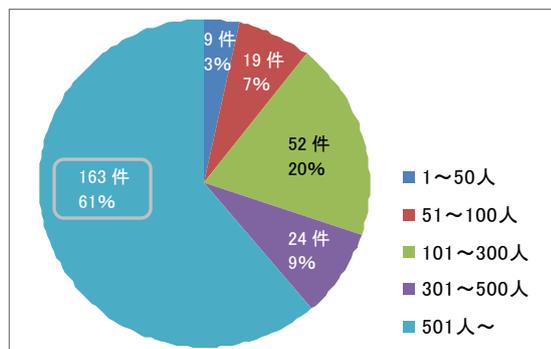
2-1-1 市内で開催された国際会議について (出典:2007年~2009年 JNTO 国際会議データ)



市内での規模別開催件数(2007年~2009年計)



市内で施設別開催件数(2007年~2009年計)



パシフィコ横浜で開催された国際会議の規模別開催件数(2007年~2009年計)

市内で開催された国際会議の規模別開催場所

		2007年	2008年	2009年	2007年~2009年計
1~50人	パシフィコ横浜	4件	2件	3件	9件
	ホテル				
	ホール	1件		1件	2件
	大学	3件	2件	3件	8件
	研究所	4件	4件	8件	16件
	その他		2件	2件	4件
小計		12件	10件	15件	37件
51~100人	パシフィコ横浜	9件	5件	5件	19件
	ホテル	2件		3件	5件
	ホール	6件	4件	4件	14件
	大学	7件	10件	3件	20件
	研究所	3件	9件	7件	19件
	その他	3件	4件	7件	14件
小計		30件	32件	22件	84件
101~300人	パシフィコ横浜	15件	19件	18件	52件
	ホテル	5件	2件	12件	19件
	ホール	9件	17件	15件	41件
	大学	10件	11件	8件	29件
	研究所	2件		3件	5件
	その他	2件			2件
小計		43件	49件	56件	148件
301~500人	パシフィコ横浜	10件	5件	9件	24件
	ホテル			5件	5件
	ホール	5件	7件	3件	15件
	大学	1件	4件		5件
	研究所				
	その他	1件			1件
小計		17件	16件	17件	50件
501人~	パシフィコ横浜	51件	60件	52件	163件
	ホテル		2件	3件	5件
	ホール	1件	5件	8件	14件
	大学	2件	3件	2件	7件
	研究所	1件			1件
	その他		1件		1件
小計		55件	71件	65件	191件
合計	パシフィコ横浜	89件	91件	87件	267件
	ホテル	7件	4件	23件	34件
	ホール	22件	33件	31件	86件
	大学	23件	30件	16件	69件
	研究所	10件	13件	18件	41件
	その他	6件	7件		13件
	合計	157件	178件	175件	510件

※展示会の中の国際会議 (カウントせず) 6件 4件

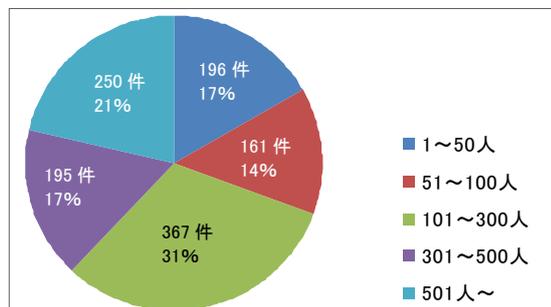
- ・市内で開催される国際会議の大半がパシフィコ横浜で開催されている。
- ・パシフィコ横浜で行われる国際会議の大半が500人以上の大規模。

(2) 横浜市内での MICE 開催状況について

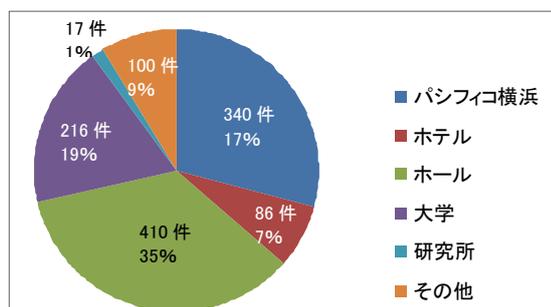
資料 4

2-1-2 市内で開催された国内会議について

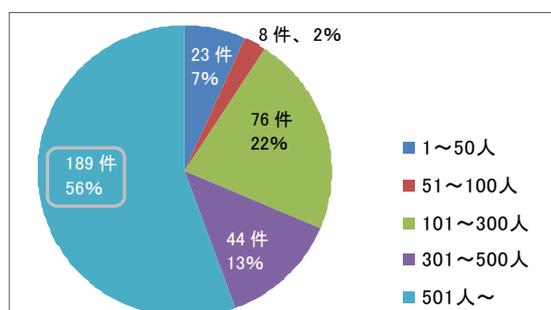
(出典:2007年～2009年 横浜コンベンションビューロー データ)



市内での規模別開催件数(2007年～2009年計)



市内での施設別開催件数(2007年～2009年計)



パシフィコ横浜で開催された国内会議の規模別開催件数(2007年～2009年計)

市内で開催された国内会議の規模別開催場所

規模	会場	2007年	2008年	2009年	2007年～2009年計
1～50人	パシフィコ横浜	10件	11件	2件	23件
	ホテル	1件	4件	13件	18件
	ホール	5件	9件	10件	24件
	大学	3件	55件	26件	84件
	研究所		10件	3件	13件
	その他	7件	26件	1件	34件
	小計	26件	115件	55件	196件
51～100人	パシフィコ横浜	3件	1件	4件	8件
	ホテル	6件		17件	23件
	ホール	18件	9件	7件	34件
	大学	9件	22件	29件	60件
	研究所		2件		2件
	その他	12件	17件	5件	34件
	小計	48件	51件	62件	161件
101～300人	パシフィコ横浜	36件	20件	20件	76件
	ホテル	3件	8件	19件	30件
	ホール	67件	31件	80件	178件
	大学	12件	34件	14件	60件
	研究所	2件			2件
	その他	7件	14件		21件
	小計	127件	107件	133件	367件
301～500人	パシフィコ横浜	22件	12件	10件	44件
	ホテル		2件	4件	6件
	ホール	64件	20件	47件	131件
	大学	2件	3件	1件	6件
	研究所				
	その他	4件	4件		8件
	小計	92件	41件	62件	195件
501人～	パシフィコ横浜	88件	45件	56件	189件
	ホテル	2件	6件	1件	9件
	ホール	18件	14件	11件	43件
	大学	2件	4件		6件
	研究所				
	その他	2件	1件		3件
	小計	112件	70件	68件	250件
合計	パシフィコ横浜	159件	89件	92件	340件
	ホテル	12件	20件	54件	86件
	ホール	172件	83件	155件	410件
	大学	28件	118件	70件	216件
	研究所	2件	12件	3件	17件
	その他	32件	62件	6件	100件
	合計	405件	384件	380件	1169件

- ・市内で開催される国内会議のうち、パシフィコ横浜で行われるのは3割弱。
その他、ホールや大学などの利用が多い。
- ・パシフィコ横浜で開催の国内会議では、500人以上の大規模のものが過半数を占める。

(2) 横浜市内での MICE 開催状況について

資料 4

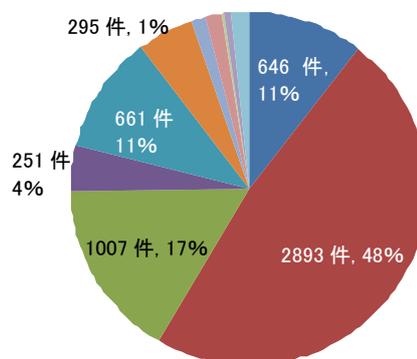
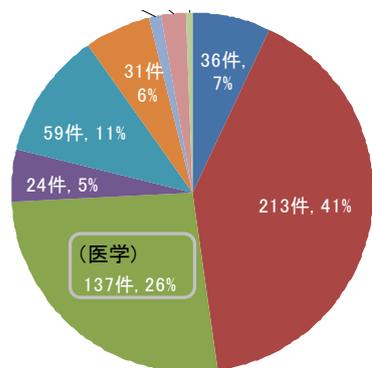
2-2 市内で開催された国際会議の分野別開催件数（出典：2007年～2009年 JNTO 国際会議データ）

- ・「科学・技術・自然」分野は、全国・横浜市内ともに件数が最も多い。
- ・横浜市内では、「医学」分野の件数が多いのが特徴的。
全国の医学分野国際会議の 13.6%を横浜が占めている。

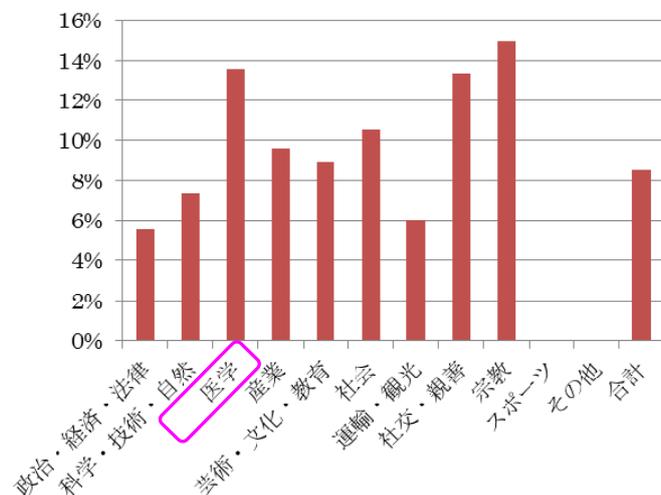
① 市内で開催された国際会議の分野別開催件数

	横浜				構成比	全国		横浜シェア
	2007年	2008年	2009年	2007年～2009年計		2007年～2009年計	構成比	
政治・経済・法律	6件	16件	14件	36件	6.9%	646件	10.6%	5.6%
科学・技術・自然	57件	78件	78件	213件	41.0%	2893件	47.6%	7.4%
医学	42件	47件	48件	137件	26.3%	1007件	16.6%	13.6%
産業	11件	5件	8件	24件	4.6%	251件	4.1%	9.6%
芸術・文化・教育	20件	18件	21件	59件	11.3%	661件	10.9%	8.9%
社会	14件	16件	1件	31件	6.0%	295件	4.9%	10.5%
運輸・観光		3件	2件	5件	1.0%	83件	1.4%	6.0%
社交・親善	4件	1件	7件	12件	2.3%	90件	1.5%	13.3%
宗教	3件			3件	0.6%	20件	0.3%	15.0%
スポーツ						26件	0.4%	
その他						102件	1.7%	
合計	157件	184件	179件	520件	100.0%	6074件	100.0%	8.6%

② 分野別構成比



③ 全国で開催された国際会議のうち、横浜市内で開催された割合（分野別）



※ ②③については、2007年～2009年計

(3) 海外、国内他都市と横浜市の比較

資料4

3-1. 横浜市と海外他都市のコンベンション施設比較

- ・シンガポールは複数の大型展示場・大規模会議場が複数あり、国際会議の開催件数がアジア圏で最多。
- ・5,000人以上収容可能な会議場は、横浜市のほか、シンガポール、ソウル、香港、メルボルンにある。

横浜市と競合するアジア圏の各施設スペック

国 (都市名)	2009年 国際会議 開催件数	主要施設	展示場	会議場		備考 (敷地内・近隣の施設配置状況)
			面積	最大規模 会議場の 収容人数	面積	
日本 (横浜市)	54件	パシフィコ横浜	20,000㎡	5,002人	—	敷地内にホテル。 近隣にショッピング施設、ホテル、中華街など。
シンガポール	689件	Suntec Singapore	22,600㎡	12,000人	10,600㎡	敷地内にホテル5つ、大規模ショッピングモール、劇場。 その他近隣に多数の観光施設あり。
		Singapore Expo	100,000㎡	8,000人	10,000㎡	敷地内にフードコート。 近隣にホテル、ゴルフコース多数。
		Marina Bay Sands	31,750㎡	11,000人	8,140㎡	敷地内に大型ホテル、大型ショッピングセンター、カジノ、美術館、ナイトクラブなど。 近隣にゴルフ場、マラーイオンタワーなど。
		Resort World Sentosa	—	7,300人	6,500㎡	敷地内にホテル6つ、ギャラリー、ショッピングモール、カジノ、ユニバーサルスタジオなど。
韓国 (ソウル)	151件	COEX	36,007㎡	7,000人	7,281㎡	敷地内にホテル、ショッピングモール、カジノ、映画館、水族館など。
韓国 (釜山)	—	BEXCO	26,508㎡	2,400人	2,082㎡	近隣にホテル、百貨店、映画館、水族館など
香港	—	香港会議展覧中心(HKCEC)	66,000㎡	8,000人	7,598㎡	敷地内にホテル2つ、レストラン。 近隣に展示施設、アートセンターなど。
オーストラリア (シドニー)	81件	Sydney Convention and Exhibition Centre	27,200㎡	3,430人	—	近隣には4ツ星、3ツ星クラスのホテルが多数。 近隣に博物館、映画館、カジノなど
オーストラリア (メルボルン)	—	Melbourne Exhibition And Convention Centre	30,000㎡	5,541人	6,376㎡	敷地内にホテル、アウトレットモール。 近隣に博物館、カジノ、映画館など。
タイ (バンコク)	81件	Royal Paragon Hall	7,100㎡	2,800人	5,100㎡	敷地内、周辺に巨大ショッピング施設、水族館、映画館、ホテル多数。
マレーシア (クアラルンプール)	—	Kuala Lumpur Convention Centre	9,710㎡	3,000人	2,389㎡	敷地内と周辺にホテル、ショッピングセンター、科学館、オーケストラホール。

(出典：MICE誘致戦略・施設のあり方に関する調査(平成23年3月25日 観光庁))

(3) 海外、国内他都市と横浜市の比較

資料4

3-2. 横浜市と国内他都市のコンベンション施設比較

国際会議の開催件数 国内上位7都市比較 (出展：JNTO 2009年国際会議統計)

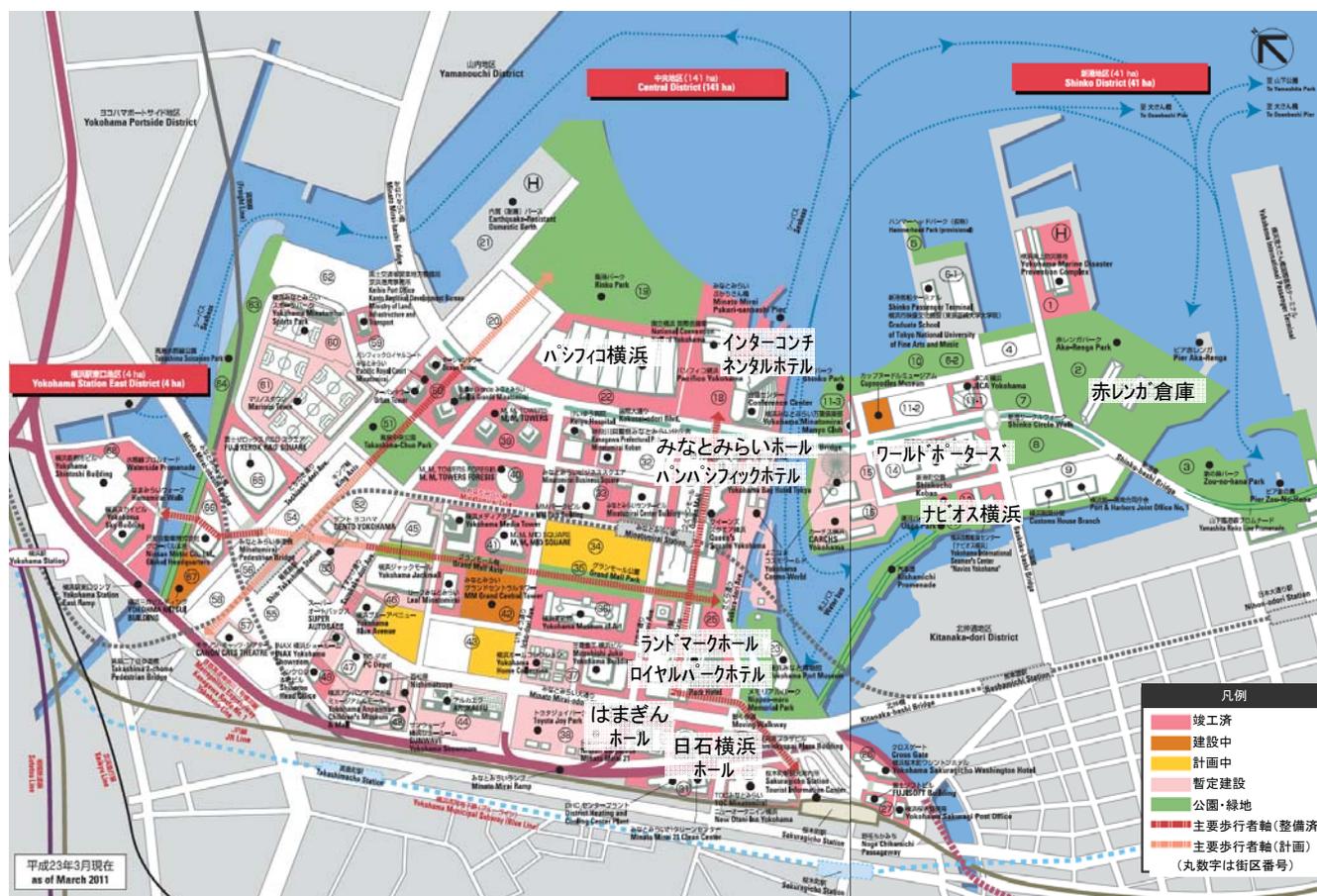
	国際会議 開催件数	主要施設 (整備/運営)	主要施設稼働率 (2009実績)	展示面積	最大規模の 会議場概要	宿泊施設
東京 (23区)	497件	①東京国際フォーラム(16件) (東京都/株東京国際フォーラム) ②東京ビッグサイト (東京都/株ビッグサイト) ※但し、国際会議の開催件数が多いのは東京大学71件、国連大学39件、三田共用会議所25件、京王プラザ22件等	①ホール80.1%、 展示ホール80.9% ②展示ホール合計 67.7%	①5,000㎡ (展示ホール) ②80,660㎡ (東・西展示場)	①5,012人 (ホールA:固定席) ②1,000人 (国際会議場:固定席)	①フォーシーズンズ東京丸の内、ザ・ペニンシュラ東京、帝国ホテルなど ②ホテルサンルート有明、東京ベイ有明ワシントンホテル、ホテルトラスティ東京ベイサイドなど
福岡市	206件	①福岡国際会議場(29件) (福岡市/(財)福岡コンベンションセンター) …隣接する福岡サンパレス・福岡国際センター・マリンメッセ福岡と一体となった、コンベンションゾーンを形成 ②アクロス福岡(28件) (福岡県・ほか/(財)アクロス福岡) ※但し、国際会議の開催件数が多いのは九州大学62件等	メインホール73.1% 多目的ホール71.3% ※2008年度実績	1,320㎡ (多目的ホール)	3,000人 (メインホールと多目的ホールの一体利用:固定席)	西鉄グランドホテル、空リア西鉄ホテル、JALリゾートシーホークホテル福岡など
横浜市	179件	パシフィコ横浜(91件) (株横浜国際平和会議場)	国立大ホール67% 展示ホール70%	20,000㎡ (展示ホールA~D)	5,002人 (国立大ホール:固定席)	ヨコハマ・グランド・インターコンチネンタル・ホテル、パンパシフィック・ヨコハマ・ベイ・ホテル東急、ナビオス横浜、横浜ロイヤルパークホテルなど
京都市	164件	国立京都国際会館(44件) (国/(財)国立京都国際会館) ※但し、国際会議の開催件数が多いのは京都大学51件等	イベントホール36.3% 大会議場48.2%	3,000㎡ (イベントホール)	1,840人 (大会議場:固定席)	ロッジ、グランドプリンスホテル京都など
名古屋市	124件	名古屋国際会議場(29件) (名古屋市/株コングレ) ※但し、国際会議の開催件数が多いのは名古屋大学62件等	イベントホール68.4% センチュリーホール68.1%	1,920㎡ (イベントホール)	3,012人 (センチュリーホール:固定席)	ウェスティンナゴヤキャッスル、名古屋東急ホテルなど
大阪市	94件	大阪国際会議場(37件) (大阪府/株大阪国際会議場) ※但し、国際会議の開催件数が多いのは大阪大学39件等	イベントホール82.6% メインホール78.2%	2,600㎡ (イベントホール)	2,754人 (メインホール:固定席)	リーガロイヤルホテル大阪など
神戸市	76件	神戸コンベンションセンター(20件) (神戸市/神戸コンベンションコンソーシアム)	国際展示場36.9% 国際会議場48.6% ※2008年度実績 ※全室での平均値	3,800㎡ (2号館)	692人 (メインホール:固定席)	神戸ベイシエラトンホテル&タワーズ、ANAクラウンプラザホテル神戸、神戸ポートピアホテル、ホテルオークラ神戸、神戸メリケンパークオリエンタルホテルなど

4-1 横浜市内の MICE 施設の集積状況

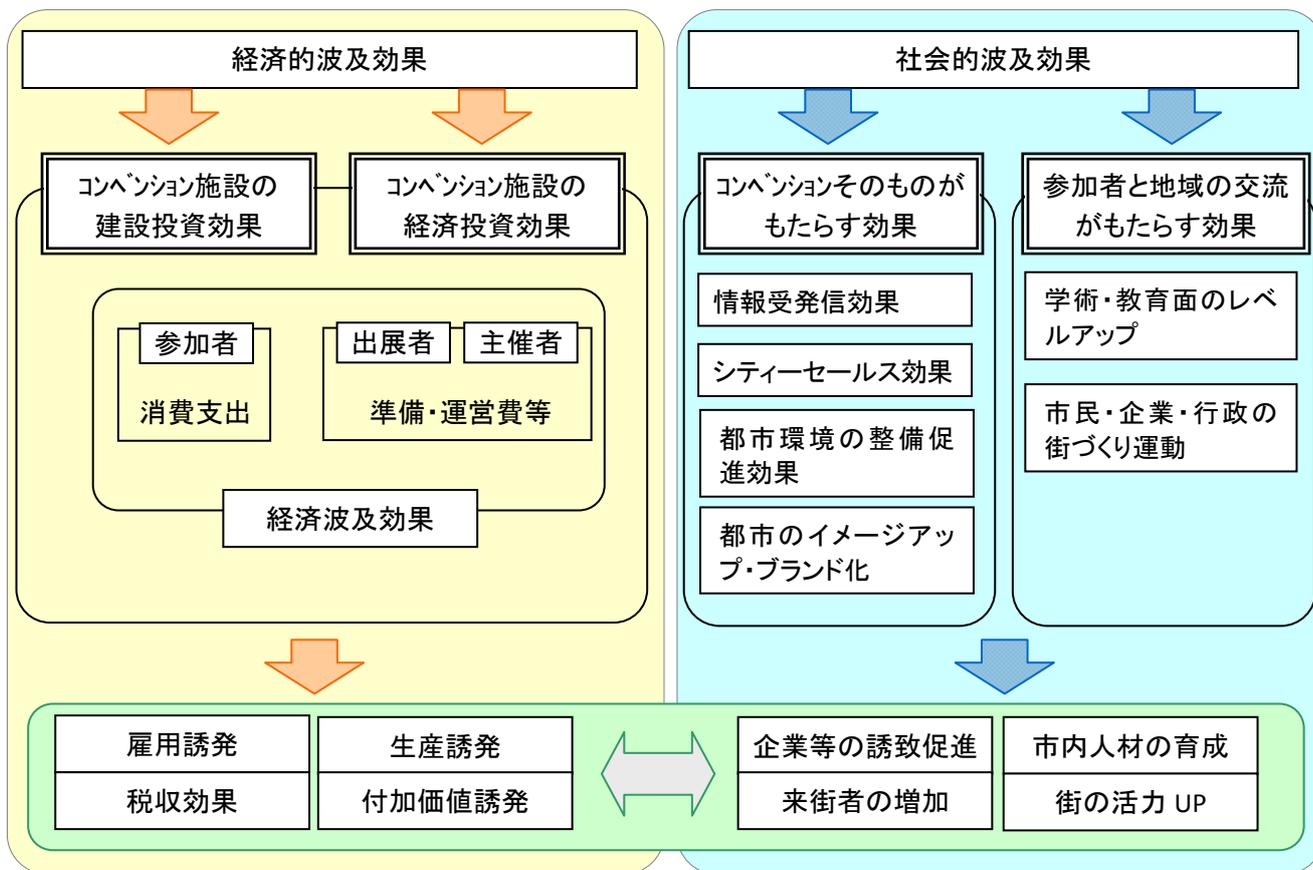
横浜市内の MICE 施設 規模別分布状況

	市内の施設数	市内の施設数		施設名(主な会議室の収容規模)
		施設数	施設名(主な会議室の収容規模)	
1000 名以上	ホール	8	2	・パシフィコ横浜(大会議室 1,440 名、国立大ホール 5,002 名、メインホール 1,002 名) ・みなとみらいホール(2,020 名)
	ホテル	3	2	・横浜ロイヤルパークホテル(1450 名) ・パン パシフィック 横浜ベイホテル東急(1400 名)
500 名以上 1000 名未満	ホール	8	2	・ランドマークホール(522 名) ・はまぎんホール ヴィアマーレ(517 名)
	ホテル	3	1	・ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル(700 名)
500 名未満	ホール	20	3	・横浜赤レンガ倉庫 1 号館(400 m ²) ・横浜ワールドポーターズ(198 名) ・日石横浜ホール(360 名)
	ホテル	24	1	・ナビオス横浜(200 名)

(出典: 横浜コンベンションプランナーズガイド)



5-1 MICE 開催による波及効果について



【参考1】横浜市の観光動態消費動向調査 (H21 年度)

調査対象	平均消費額
観光来街者	¥8,871
国際会議(日本人中心)参加者	¥35,155
国際会議(外国人中心)参加者	¥63,311

【参考2】平成 19 年度にパシフィコ横浜で開催されたコンベンションによる「経済波及効果」の調査結果

	日本全国	神奈川県	横浜市
①直接効果	約 863 億円	約 510 億円	約 465 億円
②経済波及効果	約 1,929 億円	約 772 億円	約 690 億円
③雇用効果 (雇用者所得誘発額)	約 16,200 人分 (531 億円)	約 7,100 人分 (238 億円)	約 5,900 人分 (205 億円)
④誘発税収効果	約 266 億円 (国税+地方税)	約 21 億円 (県民税+事業税+ その他間接税)	約 12 億円 (主に市民税)

【参考3】みなとみらい21地区の開発や事業活動がもたらす横浜市内への経済波及効果について

みなとみらい21地区の建設投資(インフラ整備、建物建設)による経済波及効果

	(昭和58年～) 平成22年度	(昭和58年～) 平成17年度	増加額
建設投資(インフラ整備、建物建設)	1兆9,185億円	1兆5,319億円	3,866億円
経済波及効果	2兆6,585億円	2兆2,240億円	4,345億円

みなとみらい21地区の都市稼働(個人消費、企業の生産活動に伴う消費など)による経済波及効果

	平成22年	平成17年	増加額
都市稼働(個人消費、企業活動に伴う消費など)	1兆2,895億円/年	8,846億円/年	4,049億円/年
経済波及効果	1兆7,556億円/年	1兆1,233億円/年	6,323億円/年

(※) 都市稼働内訳 …個人による消費(消費需要効果) : 3,902億円/年
 企業の生産活動に伴う消費(業務集積効果) : 8,528億円/年
 イベント効果(コンベンション等による効果) : 465億円/年

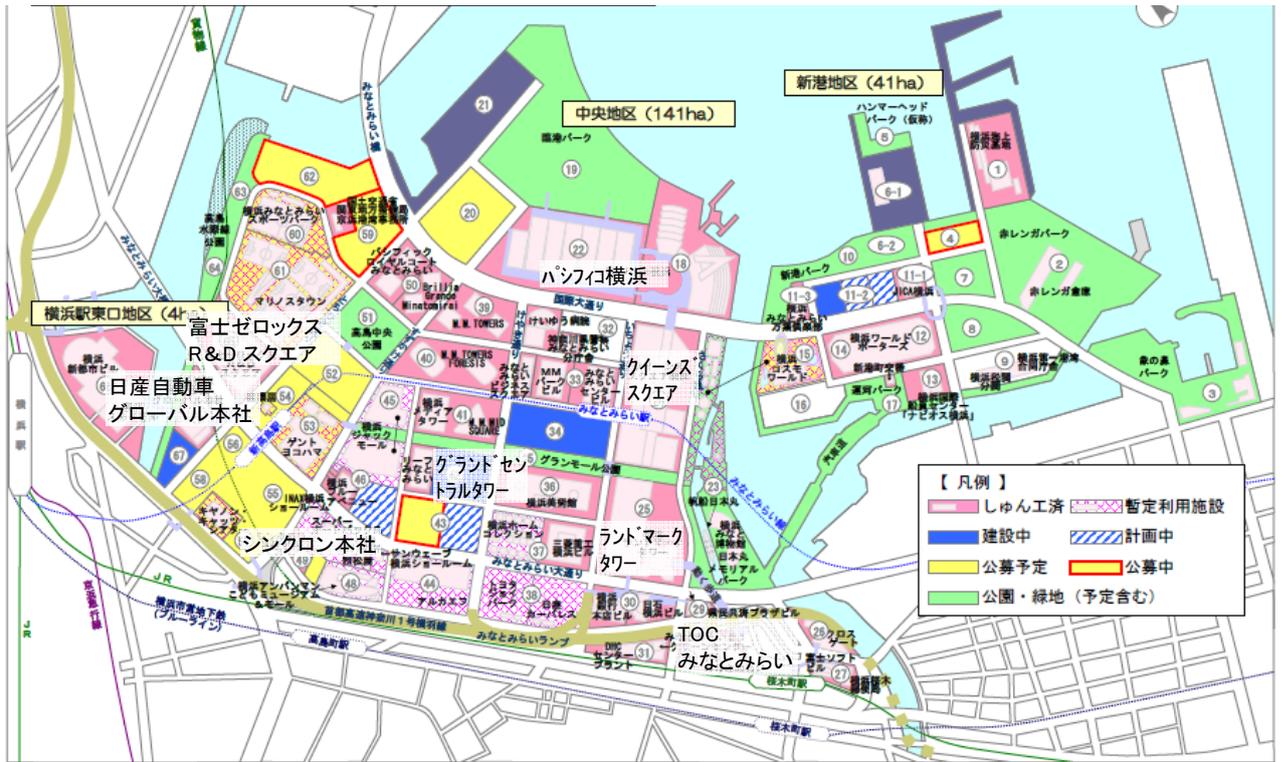
みなとみらい21地区の就業者数・事業所数・来街者数の推移

	平成22年	平成17年	増加数
就業者数	約7万9千人	約5万6千人	約2万3千人
事業所数	約1,420社	約1,140社	約280社
来街者数	約5千800万人	約4千700万人	約1千100万人

みなとみらい21地区における市税収入の推移

		平成21年	平成17年	増加額
市税収入		約145億円(注3)	約110億円	約35億円
(内訳)	固定資産・都市計画税	約99億円(注3)	約91億円	約8億円
	法人市民・事業所税	約46億円(注3)	約19億円	約27億円

【参考4】みなとみらい21 周辺地域の産業集積状況



【参考5】横浜市全域の産業集積状況

みなとみらい21地域

- ・企業本社、オフィスビル
- ・オフィス、商業、文化など多様な機能集積

新横浜都心地域

- ・IT、外資系企業が多数集積

港北ニュータウン地域

- ・オフィス、商業施設をはじめ、研究所、データセンターが多数集積

京浜臨海部地域

- ・高度な技術を有する工場や研究所が多数立地
- ・横浜サイエンスフロンティア

臨海南部工業地域

- ・海運を利用する製造拠点が多数集積

横浜駅周辺地域

- ・オフィス・商業集積地

関内周辺地域

- ・官公庁、金融保険、運輸通信などのオフィスが集積



参考：横浜市企業立地のご案内(横浜市経済観光局誘致推進課)